

今後処置する指示改修案件(6月18日届出予定分)

No	項目	対象車種 (通称名)	対象台数		届出時期	情報の種類		情報件数		事故の 有無	処置内容	不具合内容	備考
			国内	海外		社内情報	市場情報	指示改修時	今回精査 (2001/4~2004/5)				
1	エンジンのシリンダーヘッド部へのオイル供給不良。(オイル通路未貫通の可能性)	96年式 ランサー ミラージュ	141		6/18			3件 (初報入手日不明)	0件	無し	全車両、シリンダーヘッドへのオイル供給状態を点検し、オイルが供給されていないものはシリンダーヘッドを良品と交換する。	シリンダーヘッド加工工程でドリル折れを自主検査で発見し不良品を選別・修正したが、処置の実施に不備があり不良品が流出した。オイル加工穴未貫通の場合、カムシャフト焼けあるいは異音の不具合が発生する恐れがある。	初期故障型
2	エンジンのシリンダーヘッド部へのオイル供給不良。(オイル通路加工不良で潤滑不良の可能性)	96年式 ランサー ミラージュ	1,393		6/18			9件 (初報入手日不明)	0件	無し	全車両、バルブ打音を確認し、異常な打音があるものは、シリンダーヘッドを良品と交換する。	シリンダーヘッド加工工程でドリル折れによりカエリが発生し切粉が残留しているのに気付かず不良品を流出させた。切粉詰りによりオートラッシュアジャスタへのオイル供給量が不足しオートラッシュアジャスタ異音が発生する恐れがある。	初期故障型
5	燃料タンク部の低圧燃圧レギュレーターに被されている防水キャップが未装着の恐れ。	97.5年式 レグナム	33		6/18				0件	無し	全車両、防水キャップの有無を点検し、防水キャップ未装着のものは低圧燃圧レギュレーターおよび燃料フィルター一式を新品と交換する。	燃圧レギュレーター防水キャップを間違えて取り外してしまった作業者がいた。レギュレーター被水、腐蝕しエンジン不調及び腐蝕進行時、最悪燃料漏れに至る恐れがある。	
6	ヒューエルタンク近辺にあるハイプレシャーホースとパイプの結合部位にあるクイックコネクターのパイプへの挿入が不完全なものが流出した恐れ。	98年式 パジェロ	3,300		6/18			1件 (初報入手日不明)	0件	無し	全車両、燃料配管継手部の嵌合状態を点検し、確実に接続する。	作業者の不慣れによりクイックコネクターの挿入が不十分で、燃料漏れの恐れがある。	初期故障型
11	シフトケーブル取付ナットの締付けトルク不足の恐れ。	96年式 ミニキャブ	6,168		6/18			5件 (初報入手日不明)	0件	無し	全車両、シフトケーブル取付ナットの締付け状態を点検し、緩みのあるものは正規トルクで締付ける。	締め付け作業のミスにより、トルク不足品が流出した。ナットが使用過程で緩み脱落、最悪の場合シフト不能となる恐れがある。	初期故障型
13	リヤプロベラシャフトとリヤデフの結合ボルト/ナットの締付けトルク不十分な恐れ。	95年式 パジェロミニ	129		6/18				0件	無し	全車両、当該ナットの締付け状態を点検し、緩みのあるものは正規トルクで締付ける。	生産ラインにてトルクチェック作業が一部車両で洩れた。使用過程においてボルトが緩み、振動が発生し、最悪の場合プロベラシャフト脱落に至る恐れがある。	初期故障型
15	リヤブレーキチューブの組付時に、一部の車両においてチューブが変形した可能性があり、リヤショックアブソーバと干渉し損傷の恐れ。	95年式 デリカ	3,130	223	6/18				0件	無し	全車両、左後輪用ブレーキパイプとショックアブソーバの隙間を点検し、隙間が規定値以下のものは、ブレーキパイプを対策品と交換する。	リヤブレーキチューブ組付け時、チューブを変形させた為、チューブとショックアブソーバが干渉、損傷しブレーキ効き不良に至る恐れがある。	初期故障型
20	マニュアルトランスミッションのアイドルアップ回路用ダイオードハーネスが損傷・ショートする可能性の未然防止処置。	94年式 ミニカ ミニカトッポ	20,342		6/18			1件 (初報入手日不明)	0件	無し	全車両、当該配線をクラッチペダルと干渉しない箇所に固定する。なお、配線の被覆が損傷しているものは補修する。	ハーネス取りまわし作業のバラツキによりクラッチペダル操作時、アーム上部とハーネスが干渉・ショートし、ラジエータファン停止、始動不良、ランプ類不灯となる恐れがある。	初期故障型
22	フロントハーネスが左フレームへ干渉し、ハーネス被覆が破れショートする恐れ。	95年式 デリカ	2,521		6/18			1件 (初報入手日不明)	0件	無し	全車両、サイドフレームにエッジプロテクターを取付け、エンジンルーム内配線に硬質保護チューブおよび耐熱シートを取付ける。なお、エンジンルーム内配線を点検し、損傷している場合には、修正可能なものは修正し、修正不可能なものは新品と交換する。	配線経路に不備が有り、ヒューズが溶断し始動不能、変速不良の発生する恐れがある。	初期故障型
23	ISCハーネス/車速センサーハーネスの断線不具合に対する未然防止措置。 エンジンルーム内配線 車室内配線	95年式 FTO	13,680		6/18			1件 (初報入手日不明)	0件 0件	無し	全車両、エンジンルーム内配線の固定位置を変更する。 全車両、グローブボックス取付けブラケット端末に保護テープを張付ける。 なお、とも、配線を点検し、損傷している場合には、修理可能なものは修正し、修正不可能なものは新品と交換する。	作業指示不足により、取り回しに不備が発生し、又、ガイド部処理不良の為、ハーネスが断線し、エンジン不調、スピードメーターの指示不良が発生する恐れがある。	

No	項目	対象車種 (通称名)	対象台数		届出時期	情報の種類		情報件数		事故の 有無	処置内容	不具合内容	備考
			国内	海外		社内情報	市場情報	指示改修時	今回精査 (2001/4~2004/5)				
4	旋回時にクラッチを切るとエンストする恐れ。	96年式 ギャラン (タクシー)	12		6/18				0件	無し	全車両、ベーパーライザーの識別を点検し、未対策品が装着されているものは対策品と交換する。	LPG車において、ベーパーライザーの2次ダイアフラム慣性重量が過大で横Gを受けたときに2次バルブが閉じてしまい燃料遮断され、左旋回時にクラッチを切るとエンストする恐れがある(小回り時に発生)。	